



指導員等活動支援事業
(指導員等地域活動支援事業)

指導員 沢 畑 亨

水 俣 市

聞き書き活動は、 ふるさとを未来につなぐ

村おこし施設「愛林館」の館長に全国公募で選ばれ、就任。地域づくりコーディネーターや指導員等として地域活性化に貢献。地域活動の担い手育成のため、地域内外の若手メンバーと地域の文化などの伝承活動に取り組んでいます。

活動の背景と目的

地域の人口は30年程前と比較すると6割程度に減少。

「じいちゃんやばあちゃんの知恵の基礎は、棚田や森でできている。今、暮らしの知恵などを記録に残す活動をやらないと！」という思いから、活動を始めました。

地域住民に棚田や森のめぐみを活かした山間部の暮らしの知恵などの再認識・再評価を促し、それらを共通財産として利活用、伝承することを目指しています。

活動（事業）内容

平成30年度

水俣の海・山・川を聞き取るぞ（山の部）
地域住民の知恵や技、生き方、考え方を学ぶ

- 「聞き書き（聞き取り調査）」の実施
- 成果のとりまとめ手法を学ぶ勉強会の開催
- 「聞き書き」で学んだ料理を作り、田舎の食生活の豊かさを実感するイベント「家庭料理大集合！」（愛林館で開催）に参加

令和元年度

棚田で見つめる「暮らしと学び」合宿
中山間地域の資源を教育の場として生かす教育プログラム作成

- 人材育成合宿（2泊3日）の実施
- 「聞き書き」による地域の暮らしの記録

連携団体

自然とくらし研究会（30～40代の水俣に関係する仲間）
ノマディックスクール「旅する学校」 など

現在の活動と今後の展望

棚田の保全活動、体験学習、「働く田助手」・「食べる田助手」・「大豆耕作団」の募集活動や交流活動を継続的に実施しています。

「聞き書き」の手法を用いて、教育機関等と共同企画が出来ないかと考えています。



「聞き書き（聞き取り調査）」の実施



聞き書きしたことを活かす手法を学ぶ
外部講師によるワークショップ（勉強会）の開催



人材育成合宿「棚田で見つける土地の色、自分の色」
を2泊3日で開催

【連絡先】 熊本県水俣市久木野 1071
水俣市久木野ふるさとセンター愛林館
TEL：0966-69-0485

【情報発信サイト】
HP: <http://airinkan.org/>



ポイント1 暮らしの中にある知恵や文化から地域の豊かさに気づく

棚田や中山間地域での暮らしに着目。地域の関係者に生活の中に息づく知恵や文化を聞き取り、記録を残す活動を通して地域の豊かさに気づく。



地域住民の暮らしの知恵などを学ぶ



聞き書き調査のまとめを冊子として作成

ポイント2 地域内外の若手メンバーが活動の中心として活躍

数年前に移住してきた諸橋さんを中心とした地域内外のメンバーが活動に従事。本活動をきっかけに水俣への移住希望者が増えるなど、人の繋がりがその先の繋がりへと広がっている。



地域住民の思いを聞く地域内外の若手メンバーたち



若手メンバーによる映像記録活動

ポイント3 地域素材にこだわった新たな体験活動

より若い世代に暮らしの知恵や技を伝承するため、「旅する学校」の生徒による合宿等を通して、地域素材を使った工作、食事、アートなど、新たな視点での体験活動が試みられている。



次世代につなごう久木野の棚田風景



里山で採取した材料を使ったワークショップ



指導員等活動支援事業
(指導員等地域活動支援事業)

指導員 榎木 すみ子

阿 蘇 市

帰省者との美化活動が 地域全体に波及

建築家として活動後、阿蘇市波野にUターン。指導員として、ふるさとの風景を取り戻すべく、帰省者や地域住民と連携し、荒地の環境美化活動に取り組んでいます。

活動の背景と目的

耕作放棄地が増えている故郷の風景を見て、「手入れをする人がいないこと」が原因だと気づき、「昔の風景（故郷の原風景）に戻したい。できるだけ人の手が入った土地であってほしい。」という思いから、景観づくりに取り組もうと考えました。

農村地域の環境美化活動を通して地域内の意識向上と地域内外との交流活動の促進を目指しています。

活動（事業）内容

農村地域の環境美化活動を通じた地域内外との交流、体験学習と教育機能の向上

平成 30 年度（阿蘇市波野小園南畑）

- 枯れ木や倒木の片付け
- 隣地境界の確認と明示
- クヌギ、桜、モミジの植樹
- 下草刈り

令和元年度（阿蘇市波野小園大畑）

- 台風の倒木の片付け
- 隣地境界の確認と明示
- クヌギ、桜の植樹
- 下草刈り
- 獣害調査（野生鳥獣のひそみ場にしない美しい景観の維持が課題）

連携団体

波野の交流施設 など

現在の活動と今後の展望

主に以下の活動を継続して実施しています。

- ・ 整備や植樹した場所の維持及び管理活動
- ・ 野生鳥獣のひそみ場にしないための環境美化活動
- ・ 体験や交流プログラム（バギー体験など）の実施

今後は、山や畑がきれいになった成果をみてもらい、更に活動の輪を広げるような取り組みを継続していきたいと考えています。



手作業で倒木の片付け作業をすることからスタート



植樹（下草刈り）活動



獣害調査の実施

【連絡先】 熊本県阿蘇市波野大字小園 795
TEL : 080-9242-8841

【情報発信サイト】

HP: <https://rakuen-namino.com/>



ポイント1 耕作放棄地の再生ではなく植樹で阿蘇の原風景を再現

耕作を放棄（断念）された田畑のどうしても手が入らないような所を整備（植樹）するという考えのもと活動。ふるさとの風景を取り戻したいという思いから、植樹する木の種類も阿蘇に以前より生えていた樹種を中心に選定。



手入れ・植樹された国道沿いの事業対象地



整備する前の状況

ポイント2 家の数だけ帰省者がいることに着目

地域では、高齢化が進み人口も減少しているが、帰省者へ作業参加を呼び掛け、協働で作業を実施。継続的な活動を見た地域の人も、個人や地域活動として荒地の美化活動を行うようになるなど、活動が地域に波及している。



帰省者との協働作業



地域住民による美化活動（枝の伐採）

ポイント3 植樹した場所の有効活用を考える

整備した場所の有効活用及び活動成果を普及・啓発することを目的とした体験・交流の場づくりに取り組み、地域内外の人々との連携づくりを目指して、継続した取り組みとなるよう考えられている。



整備した場所での山菜摘み体験の開催



整備した荒地をバギー体験の場に活用



指導員等活動支援事業
(指導員等地域活動支援事業)

豊かな大江の里づくりの会

天草市

オーナー制による地元特産品の 商品化ビジネスモデルの構築

「稼げる地域づくり活動」のビジネスモデルをつくるため、地元農家や住民と連携し、地域の農産物を活用した加工品づくり（6次産業化）に取り組んでいます。

活動の背景と目的

「地域づくり活動を、賃金が出せるような取り組みにしたい」という思いから、地域の農産物を活用した加工品づくり（6次産業化）に取り組みたいと考えました。

製造した加工品を地域の特産品として販売し、地域活性化と農地保全・利活用の必要性の普及・啓発に寄与することを目指しています。

活動（事業）内容

平成 30 年度

オーナー制によるサツマイモ・ジャガイモ焼酎づくり

地元で昔から生産され、郷土料理の原料にも使われている「アメリカ芋（サツマイモ）」や、ジャガイモの栽培を行い、焼酎の蔵元に製造委託し、オーナー制度による加工品として商品化（6次産業化）に取り組む。

- サツマイモの栽培（25aの農地で1,230 kg収穫）
- ジャガイモの栽培（15aの農地で2,000 kg収穫）
- 焼酎オーナーの募集
- ジャガイモ収穫体験（交流事業）の実施
- 酒蔵への原料出荷・酒蔵見学イベントの実施
- 焼酎（サツマイモ、ジャガイモの2種類）の商品化

連携団体

地元の農家
酒造メーカー（人吉市） など

現在の活動と今後の展望

新しい取り組みとして「ジン」の商品化を検討しています。ジンの原料はサツマイモとジャガイモを使用し、現在栽培している月桃で香りづけを行う予定です。

大江には、キリシタン文化や椿公園などの歴史・文化・観光資源があり、様々な資源を活用した体験ができる場所です。「体験」をキーワードにアイデアを出し合っ、地域内外の人と連携し、地域活性化などに取り組んでいきたいと考えています。



アメリカ芋（サツマイモ）の蔓除去作業



ジャガイモの収穫イベント



オーナー募集のための
交流・体験イベントの開催

【連絡先】 熊本県天草市天草町高浜南 5332
豊かな大江の里づくりの会
TEL：080-1759-5806（担当：大脇文穂）

【情報発信サイト】

HP: <http://ooenosato.jp>



ポイント1 地元農産物を活用した6次産業化のビジネスモデルの試行

「オーナー制」を活用して特産のアメリカ芋（サツマイモ）やジャガイモの加工品（焼酎）づくりを実現。天草出身の画家にラベル製作を依頼するなど、地元の特産品・土産物として販売するための工夫を行った。



天草出身画家のラベルで故郷をアピール



商品と活動経緯を紹介したパンフレットの作成

ポイント2 農家の負担軽減のため重量作物から軽量作物への転換を模索

協力してくれる農家も高齢化が進み、芋類などの重量作物は負担が大きい、軽量作物（月桃）への切り替えと商品化に取り組む。「月桃」の可能性に着目し、サツマイモやジャガイモを原料としたジンの商品化にも活用予定。



県内では珍しい月桃の栽培：平成30年度くまもと里モンプロジェクトを活用



ポイント3 地域の歴史的資源や文化の要素と農業が連携した活動

大江地区の歴史・文化・観光資源などの地域特性を、農産加工品の開発や農業による交流活動に生かし、地域全体を活性化させていくことを目指している。



キリシタン文化をはじめとする天草の地域資源を広報・交流活動に活用